

地震・火山 研究の歴史

地震研究の歴史

火山研究の歴史

1970

- 1965 松代群発地震
- 1968 十勝沖地震
- 1969 地震予知連絡会設置
- 1976 東海地震説の発表
- 1976 地震予知連絡会に東海地域判定会設置
- 1978 地震予知研究協議会が発足
- 1978 大規模地震対策特別措置法
- 1978 宮城県沖地震
- 1978 伊豆大島近海地震
- 1979 気象庁に地震防災対策強化地域判定会



1980

- 1983 日本海中部地震



1990

- 1993 北海道南西沖地震
- 1994 東京大学地震研究所が全国共同利用研究所に改組
- 1995 兵庫県南部地震 (阪神・淡路大震災)**
- 1995 地震防災対策特別措置法
- 1995 地震調査研究推進本部設置

前兆現象の捕捉による
予知から予測システム
構築へ

パラダイム
シフト



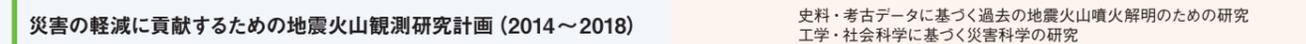
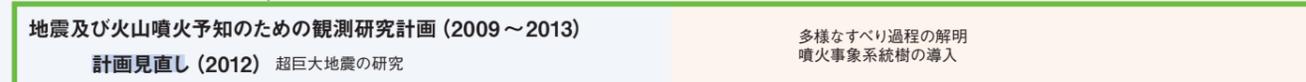
新地震予知研究計画～21世紀に向けたサイエンスプラン (1998)



2000

- 2004 新潟県中越地震

- 2006 地震予知研究協議会と火山噴火予知研究協議会が
地震・火山噴火予知研究協議会に統合



2010

- 2010 東京大学地震研究所が共同利用・共同研究拠点に改組
- 2011 東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災)**

工学、歴史学、考古学、
人文社会科学研究者の
参画

パラダイム
シフト

- 2016 熊本地震
- 2017 気象庁に南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を
設置

1970

- 1910 有珠山噴火

- 1970 桜島火山活動の活発化・噴火の頻発**
- 1973 活動火山対策特別措置法
- 1974 火山噴火予知連絡会設置

- 1977 有珠山噴火 (山頂噴火)
- 1977 北海道大学有珠火山観測所設置
- 1979 阿蘇山噴火 (死者発生)
- 1979 御嶽山噴火 (中規模水蒸気噴火)

1980

- 1983 三宅島噴火 (山腹割れ目噴火・溶岩流海に到達)
- 1984 気象庁本庁に地震火山部発足、
地震火山部地震火山業務課火山室に改組
- 1986 伊豆大島噴火
(山頂噴火から山腹噴火、全島避難)
- 1989 伊豆東部火山 (海底火山噴火)

1990

- 1990 雲仙普賢岳噴火**
(91溶岩ドーム形成、火砕流で死者)
- 1990 気象庁火山室は廃止、
地震火山部地震火山業務課火山対策官を設置

2000

- 2000 火山噴火予知研究協議会が発足
- 2000 有珠山噴火**
(平成新山形成、噴火予測情報の発表)
- 2000 三宅島噴火** (火口陥没、長期全島避難)
- 2004 国立大学法人化
- 2004 浅間山噴火 (小規模マグマ噴火)

国立大学の法人化により
火山観測網の高度化
が難しくなった

パラダイム
シフト

2010

- 2011 霧島山新燃岳
(中規模マグマ噴火、農作物被害)
- 2011 東北地方太平洋沖地震
- 2014 御嶽山噴火** (登山客死者・行方不明者63名)
- 2014 口永良部島噴火 (15 マグマ噴火)
- 2015 活動火山対策特別措置法の改正
- 2015 火山防災協議会の設置義務